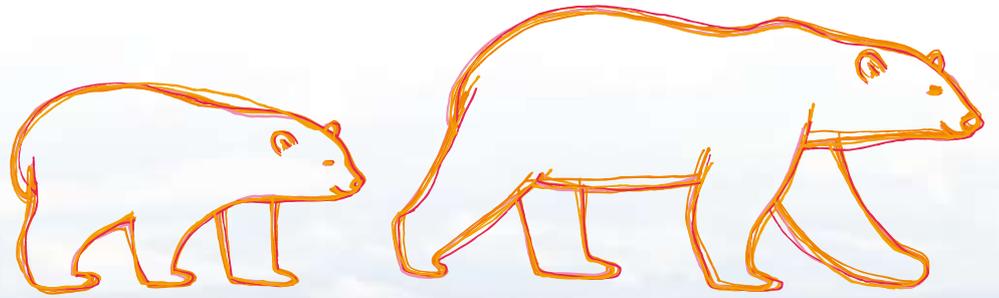


# 社会環境報告書

# 2008

クリーンカンパニーを  
めざして[Vol.2]



## 【ホッキョクグマ (異名：シロクマ)】

レッドリスト (IUCN) カテゴリー分類：絶滅危惧Ⅱ類 (危急種) ▶ 絶滅の危険が増大している種

北極圏には、2万～2万5,000頭のホッキョクグマが生息しているといわれていますが、ここ数年の地球温暖化によりその数は減少し、絶滅する可能性があります。

ぺんてるは、世界自然保護基金 (WWF) を通じて自然保護活動 (野生生物の保護や地球温暖化防止の活動) に、商品の売り上げの一部を協賛しています。

# 文具を通じて文化を育成し、 社会から尊敬される企業をめざします



## 「書く」「描く」文化を育成

ぺんてるでは創業以来の社訓の中に「社業を通じて国家社会への貢献」という一節を掲げ、「文具を通じて文化を育成する」ことを活動の基本としています。

まず、数々の画期的な製品を世に送り出し続けることで、人々の「書く」「描く」文化の育成に貢献してきました。1960年発売の黒鉛と樹脂を原料にしたシャープペンシル用替芯に始まり、世界で初めてのノック式シャープペンシル、アメリカで爆発的にヒットした「ぺんてるサインペン」、世界初の水性インキボールペン「ボールぺんてる」、獣毛を使わない「ぺんてる筆」、世界初のペンタッチ式修正液、ゲルインキボールペン「ハイブリッド」などがあります。最近では“くっきりきれいな”筆跡の極細ゲルボールペン「スリッチ」やぺんてる独自の「ナノカプセル製法」により学習能力を向上させる効果のある香りをシャープペンシル用替芯の内部に閉じ込めた「サブリオ」、食用色素の安心インキを用いて食品容器などに筆記できるキッチン用マーカー、片手で素早く操作できるキャップのいらないノック式マーカー「ハンディ」など、どこにもなかった独創的な新製品で文具の未来を提案しています。

## 社会や環境に配慮した企業活動

また、ぺんてるは企業としての社会的責任を果たすべく企業活動全般にわたり、確かな品質と安全性の実現に取り組んでおります。

品質においては、全社的に総合的品質管理活動(TQM)を展開しています。40年近く全員参加のQCサークル活動を推進しており、全日本大会でも幾度となく金賞を受賞しています。1976年には文具業界で

## 「社訓」、「企業行動指針」に基づき、 持続可能な社会づくりを推進します

### 〔基本理念〕

ぺんてるは、1996年に「ぺんてる環境綱領」を策定し、地球環境保全に取り組む姿勢を明確にし、あらゆる企業活動にそれを反映させてきました。

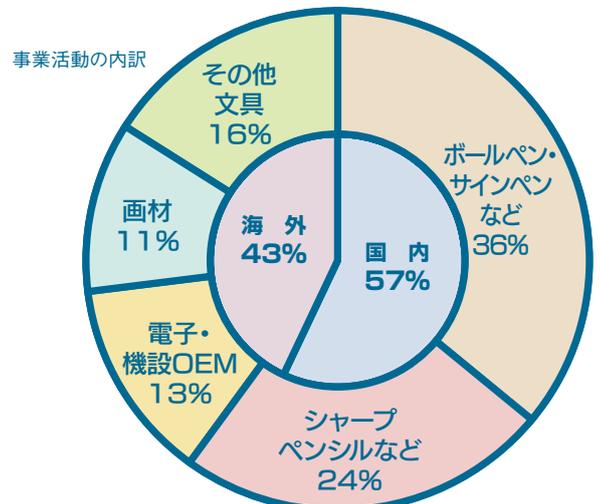
2005年、企業の社会的責任を果たし、持続可能な企業、社会の構築のため、創業以来の「社訓」をベースとした「ぺんてる企業行動指針」を策定しました。

この指針を全社員に周知徹底し、持続可能な社会づくりを推進します。

### 〔事業活動〕

ぺんてるといえば、クレヨンイメージが強いと思いますがしながら現在、クレヨンを含む画材の売り上げは全体の11%に過ぎません。

当社の事業分野は、電子機器などの製造販売、産業用ロボット・産業用自動組立機・精密ハンドプレスなどの製造販売、さらに化粧品、文具事務用品などのOEM関連製品の製造販売にまで広がっています。



初めて品質管理の最高栄誉であるデミング賞を受賞し、1995年には国内文具メーカーで初めて茨城工場がISO9001を認証取得し、その後他の国内工場、海外の各工場でも認証取得いたしました。

環境保全活動においては、国内工場をはじめ、アメリカ、台湾の各工場でもISO14001を認証取得し、エネルギー、環境に影響を与える化学物質や廃棄物の削減と管理をめざしています。

2007/08年は再生紙や再生樹脂の配合率偽装が社会問題になりました。残念ながら、ぺんてるにおいても一部の製品でこの問題が発生しました。これらは、社内の徹底的な調査の結果、発覚が明らかになったものや、仕入れ先から発覚の事実を申告されたものです。弊社は事実が発覚後、社内的再発防止対策を講じ、関係機関へ届けるとともに、真摯で迅速な情報公開の姿勢に基づく開示をホームページ上で行いました。

日本国内では販売商品の約50%がエコマーク商品やグリーン購入法適合商品となり、今後さらに増やしていく計画です。全世界に向けてリデュース（削減）、リユース（再利用）、リサイクル（再生）をキーワードに、限られた資源を最大限に有効利用する「リサイコロジー」商品群を市場導入し、環境保全を提案しています。

製品安全性においては、日本でのJIS規格は勿論のこと、日本よりさらに厳しいEUのRoHS指令やCE基準などをクリアする品質設計を行い、お客様に安心してお使いいただける製品作りを進めております。ぺんてるでは、製品・機能の品質や世間一般の基準、規格、指令に留まらず、「環境負担の少なさ」や「サービスの質」を含んださらにレベルの高い、「ぺんてるならではの品質」の実現をめざしています。

コンプライアンスにおいては、「ぺんてる企業行動指針」を策定し、そのマニュアルに基づき従業員に対する教育やコンプライアンス委員会などの内部監査制度の充実を図っています。マニュアルには社会から尊敬され、愛される企業となるため、世界中の労働者の人権、労働環境、

労働条件等について、また企業として、一企業人として遵守しなければならないことが具体的に例示されており、社内電子掲示板での閲覧や教育資料として社員に徹底させています。また輸出されたぺんてるの技術や貨物が平和目的以外に使用されないように管理体制を整え、お客様情報や社内機密に関する厳重な管理を行っています。

その他にもぺんてるは、世界自然保護基金(WWF)への協賛としてWWF監修の元で制作した小学校向け環境教材「ホッキョクグマが泣いている...」の発刊・全国の小学校への無料配布、今年はその海外への展開、さらには全国各地で開催される写生大会への協賛、幼稚園・保育園の先生方の美術指導のレベルアップをめざした幼年美術の会の活動などの社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

特に、大阪万博以来38回継続している「世界児童画展」は、毎年世界36カ国から20万点以上の絵の応募がある世界で有数な児童画の展覧会であり、「描く」ことを通じて世界の子供達の情操や感性の涵養に大きく貢献をしています。

## グローバルな持続発展をめざして

ぺんてるのコーポレートステートメント「Spirit of Wonder」は『ぺんてるは世界中のお客様に愛用され続ける、ワクワク、ドキドキするような楽しい製品を提供していく創造力あふれる会社であり続けること、またそうした製品を生み出していく気持ちを私たちぺんてる社員が持ち続けること』を意味しています。

ぺんてるは、これからも「書く」「描く」ことを通じて文化を育成し、社会から尊敬される企業をめざした活動を推進してまいります。

ぺんてる株式会社  
代表取締役社長



### 企業行動指針

- 広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報を公正に開示します。
- 環境問題への取り組みは人類共通の課題であり、企業の存在と活動に必須の要件であることを認識し、自主的、積極的に行動します。
- 品質、環境、安全性や個人情報・顧客情報の保護に十分配慮して社会的に有用な製品を開発、提供し、消費者・顧客の満足と信頼を高めていきます。
- 「良き企業市民」として、積極的に社会貢献活動を行います。
- 公正、透明、自由な競争ならびに適正な取引を行うこと。また、政治、行政との健全かつ正常な関係を保ちます。
- 従業員の多様性、人格、個性を尊重するとともに、安全で働きやすい環境を確保し、ゆとりと豊かさを実現します。

### 社訓

- 一. 社業を通じて国家社会への貢献
- 一. 製品を通じて全世界よりの信用の蓄積
- 一. 相手の気持になって行動する  
感謝と奉仕の精神
- 一. アイディアを尊ぶ研究的態度
- 一. 適正利潤と冗費節約による会社、  
従業員の繁栄
- 一. 正しい人格と愛される人柄の培養

# グローバル企業として 社会から尊敬される企業をめざします



**ドイツペんてる**  
輸出担当マネージャー  
**Mr.Knut Starke**

私はヨーロッパの再輸出の責任者です。世界的に活動している会社で働いて、多くの異なる人種や文化に触れることが大変うれいです。



**2スイスペんてる**  
フランス語地区営業担当  
**Mr.Daniel Jacobi**

卓越した製品品質がもたらす「信頼できるパートナー」としてのペんてるへの評価は、お客様との商談におけるいちばんの強みです。



**5ポーランドペんてる**  
分析スペシャリスト  
**Ms.Anna Lewandowska**

多くの異なるデータフローのおかげで、私の仕事は決して退屈ではなく、たくさんの満足感と安心感を得られます。



**6イタリアペんてる**  
経理部長  
**Ms.Sabrina Gasparini**

社員のモチベーションをできる限り高め、彼らと強く、長い絆を築くよう努めております。



**9天津ペんてる**  
製造副部長  
**張 斌さん**

天津工場から、中国や世界のお客様が喜んでいただける品質の良い製品を作り送り出していることを誇りに、日々充実した毎日を過ごしております。

イギリスペんてる

ドイツペんてる

ポーランドペんてる

スイスペんてる

イタリアペんてる

ユーロペんてる



**3ユーロペんてる(フランス)**  
総務部長  
**Ms.Nelly Martin**

品質向上と製造原価低減を第一に考え、みんなが良い環境で働けるよう日々心がけています。

南アフリカペんてる



**4南アフリカペんてる**  
チェーンストアマネージャー  
**Ms.Verona Engelbrecht**

常に競合他社と比較して、ペんてるが市場のリーダーとなるよう業務に取り組んでいます。



**7上海ペんてる**  
人事総務係長  
**施 莉莉さん**

ペんてるを発展させる、優秀な人材を発掘し、仕事上独立できる人材に育てたいという信念を持っています。



**8マレーシアペんてる**  
販売・顧客サービス担当  
**Ms.Haziana Bt Ghazali**

営業スタッフとの密な連携でお客様の対応にあっています。世界をつなぐペんてるは、私に広い視野と新たな知識を持たせてくれます。



**台湾ペんてる**  
企画課課長  
**張 文山さん**

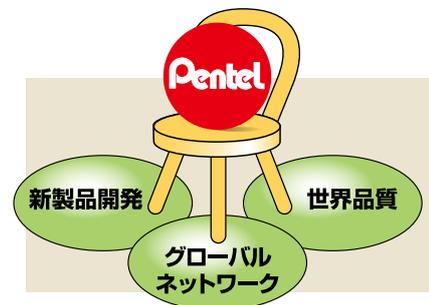
台湾の文具市場の競争は激しいですが、ペんてるの仲間と固い信念を堅持しながら、挑戦に応じて、ペんてるの光栄を蓄積すべく、大いに頑張ります。

オーストラリアペんてる

## 会社概要

社名：ペんてる株式会社 PENTEL CO.,LTD.  
本社：〒103-8538 東京都中央区日本橋小網町7番2号  
TEL.03-3667-3333(代表)  
創立：1946年(昭和21年)3月 資本金：450百万円  
売上高：44,011百万円(2006年度・連結)  
経常利益：1,387百万円(2007年度)  
従業員数：870人(2008年4月) ※臨時社員を除く

事業内容：1.文具事務用品(画材、筆記具など)の製造販売  
2.電子機器(タッチパネル、デジタルタイザ、電子ペンなど)の製造販売(電子機器事業部)  
3.産業用ロボット、産業用自動組立機、射出成型用精密金型、精密ハンドプレスなどの製造販売(機設部)  
4.OEM関連製品(化粧品用部品及び製品、文具事務用品、医療機器用部品など)の製造販売(OEM事業部)



## 目次

いつもそこに——ペンてる 5

### 社会報告

文具を通じて文化の育成 7

環境教育プログラム 8

地域とともに 9

コミュニケーション 10

コンプライアンス活動 11

お客様満足度向上活動 12

安全で働きやすい職場づくり 13

### 環境報告

環境マネジメント体制 15

環境取り組み報告 17

環境に配慮した商品開発 19

国内外のエコファクトリーへの取り組み 23

### 資料編

世界の文具をリードするペンてる 25

ペンてるの歴史と社会・環境活動のあゆみ 26

#### 編集にあたって

- ・表紙のスローガンは昨年度と同様に、ペンてるが環境への取り組みだけでなく、CSR(企業の社会的責任)やサステナブル(持続的発展)も最重視してきた変化に対応できるよう「公明正大、清潔などをイメージする」"クリーン(Clean)"としました。
- ・環境関連データは原則2007年度までの情報を収集期間とし、イベント、トピックス的な情報は一部で2008年度の情報を取り入れました。
- ・本報告書を2008年度にお使いいただくために「社会環境報告書2008」としました。



#### カナダペンてる

クレジット・マネージャー補佐

Ms.Lori Smith

他国に旅行して、ペンてるの商品が並んでいると、自分はグローバル企業に勤めているのだと実感します。



#### ペンてるオブアメリカ

資材購買担当

Ms.Nuala Gonzales

オンタイムデリバリの向上と適正在庫レベル維持に取り組むと同時に、お客様へより良いサービスを提供できるよう日々心がけております。



カナダペンてる

ペンてるオブアメリカ

メキシコペンてる

ラテンペンてる



#### ラテンペンてる

倉庫担当

Mr.Alberto Perez

倉庫内の整理、正確な出荷をモットーに、常に改善を心がけ責任を持ち仕事に臨んでいます。

#### メキシコペンてる

営業

Mr.Carlos Merino Reybon

この会社で働いていることに、いつも誇りを感じています。マスマーケットへの新規参入を目標に、日々努力しています。

ブラジルペンてる

#### 新製品開発

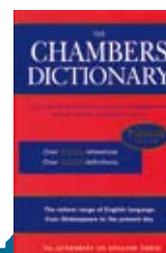
他人のマネでなく、マーケットインの姿勢で、世の中にない数々の新製品を開発しています。

#### 世界品質

優れた品質の製品であれば、国境や人種・宗教に関係なく世界中のお客様にお使いいただけるとの信念のもと、世界品質の製品を作り続けています。その基礎になるのは品質管理活動です。

#### グローバルネットワーク

1964年アメリカに海外販売会社を設立、新製品の世界展開に応じてグローバルネットワークを構築しています。



#### 世界の人に愛される Pentel

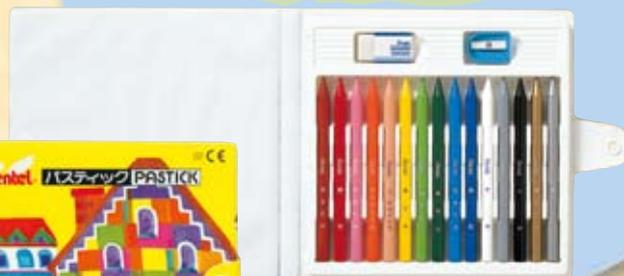
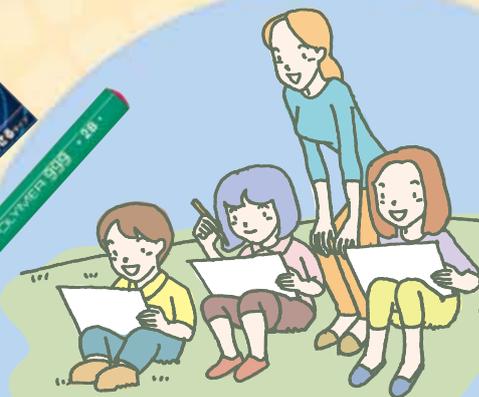
イギリスで最も権威のある英語辞書 THE CHAMBERS DICTIONARYに社名 "Pentel" がサインペンや

# 人生の歩みとともに、い

心を育むSSSS



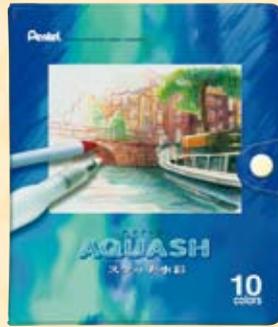
ぺんてるの子ども用商品のマスコット「ベベとルル」はより親しみやすく、また、安心してお使いいただける、シンボルキャラクターです。



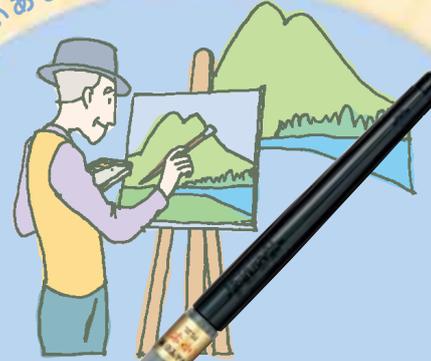
いきいき、のびのびをお手伝いSSSS

# つもそこに一ぺんてる。

「知る」「調べる」「考える」を充実SSSS



潤いある充実した生活を演出SSSS



迅速、正確、そして楽しさを提供SSSS



# 文具を通じて文化の育成

児童画展覧会や写生大会への協賛を通じて、子どもたちの情操、感性の育成に力を入れています。

## 世界児童画展

1970年大阪万国博覧会会場で開催された第1回以来、財団法人 美育文化協会主催の「世界児童画展」に協賛しています。同展には世界36カ国、20万点を超える作品の応募があります。

### ぺんてるの協力で20万点を超えた応募作

私も財団法人 美育文化協会が主催しております「世界児童画展」は、子どもたちの感性と理性の調和のとれた成長を願い、造形文化への支援と、国際相互理解を目的として開催され、2007年で第37回となりました。

特に国内外の募集に際しては、ぺんてる(株)社員の皆様にひとかたならぬご尽力を賜っており、深く感謝しています。



表彰式では、総理大臣賞をはじめ各特別賞に輝いた児童と共に、外務大臣賞を受賞した韓国、タイの児童にも式に参列していただけたことを大変嬉しく思いました。

今回の優秀作品も後援団体である読売新聞社により各地域で新聞に掲載され、受賞児童の喜びの声を全国に響かわたらせることができました。これからも日本の将来を担っていく子どもたちに良い機会を与え続けられるよう、関係者の皆様と共に努めていきたいと存じます。

財団法人 美育文化協会  
事務局長 島崎 正明



## 写生会

ぺんてるは毎年、全国各地で開催される写生会に協賛・協力をしています。2007年度は「山下公園ファミリー写生大会」(横浜市PTA連絡協議会主催)をはじめ、60カ所以上の実績をあげました。

### 写生会ってどのように開催されるの？

まず、写生会の開催をチェック。新聞の文化面や市町村の広報誌や近所の文房具屋さんの店頭ポスターなどで告知されたりします。申し込みはほとんど当日、現地でOKです。年齢制限もありません。参加費はほとんどの会場で無料です。画用紙は配布される場合が多く、持ち物は画材道具と敷物くらいです。当日、会場で受付を済ませたら、主催者からの注意事項を確認して、後は自由に好きな場所で描くだけ。画材道具を現地で販売している場合もあります。

熱心に画用紙に向かう子、昼寝をしているお父さんを尻目に公園を走り回る子、早々にお弁当を広げている家族など、楽しみ方は人それぞれです。学校の授業と違って、自由に、気軽に楽しめるのが魅力です。

完成した作品を提出して写生会は終了(山下公園の写生会では提出時に希望者限定で地元の美術系大学出身の先生の講評を受けられます。行列ができるほどの人気です)。

提出作品は審査のうえ各賞が決定されます。駅や市役所など所定の場所に掲示されます。各入賞者に図書カード、画材などの副賞を進呈する写生会も多いようです。



### 幼年美術の会(幼美)

ぺんてるは、全国各地の幼年美術の会で、創立以来お手伝いをさせていただいています。

幼年美術の会は、1963年8月に「子どもの美意識と成長」を願う近畿地区の8名の先生方が世話人になり、奈良で企画、京都で創立されました。

「幼年美術夏季大学・研修会」開催と月刊機関誌「幼年美術」発行を2本の柱に、現在東京・大阪をはじめ全国15カ所に支部があり、創立以来45年間、「民間の教育研究団体」として保育と表現活動を通じて戦後日本の幼児教育に貢献しています。

各地区の「夏季大学」には、毎年2,000人以上の幼稚園・保育所・小学校の先生方が参加され、乳幼児から児童へと成長する子どもの表現を、「実技研修」「分科会」「幼児の絵を読む会」を通じて学ばれています。また、機関誌「幼年美術」は、この3月で発刊500号をむかえ、日本全国の幼児教育の実践発表・研究交流の場として現場の先生方に広く活用されています。



会員持参の絵を読む会

# 環境教育プログラム

ぺんてるは「社業を通じて国家社会への貢献」を社訓の1つとして掲げています。小学校の「総合的な学習の時間」のための環境教育プログラムも、社訓の考えをもとにスタートしました。

## 子どもたちに環境保護の大切さを教える

絶滅の危機にある野生生物の保護や地球全体の自然環境保全に取り組んでいる世界自然保護基金(WWF)の活動に、WWFのマークをつけたぺんてるくれよんなどの製品を通じて応援・協賛し、このマークをつけた商品の売り上げの一部を自然保護活動に還元しています。

今回このような活動が縁で、WWFの協力のもと、環境・社会活動と次世代育成活動が連携した環境教育プログラム、地球温暖化をテーマにした小学4～6年生の「総合的な学習の時間」向け教材の『ホッキョクグマが泣いている...』を作成しました。

## 『ホッキョクグマが泣いている...』

### 1 全国の小学校に無料配布

ホッキョクグマの生息域である北極圏の氷が、地球温暖化によるとみられる気温上昇の影響で年々減少しています。このまま温暖化が進むと、2050年には1900年代の80%になるという予想もあります。

本教材は、子どもたちもよく知っているホッキョクグマに焦点をあてることで、温暖化の深刻さをより身近にとらえさせ、それを防ぐ方法を考え、実践していくという構成を特長としています。「児童用読本」と「教師用」があり、地球環境の保護と温暖化防止を“子どもたちの身近な出来事”としてとらえられるような学習が、5時間にわたって展開できるようになっています。

佐島群巳(さしま・ともみ) 東京学芸大学名誉教授・帝京短期大学客員教授をはじめとする学識経験者の方々の協力、財団法人 世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)の監修を得て作成し、2006年4月より無料配布を開始。配布は全国の小学校・学年・学級を単位とし、電話またはFAXで申し込みを受け付けています。

<http://www.pentel.co.jp/sogo-gakushu/index.html>



総合学習教材  
『ホッキョクグマが泣いている...』(英語版)

### 2 世界展開

さらに2008年には、『ホッキョクグマが泣いている...』の英語版を作成し、配布します。以後、英語以外の言語への翻訳も計画しており、全世界に向けて、ぺんてるのメッセージを発信します。

# 地域とともに

地域の皆様と交流を深める活動を推進しています。

## ローカル・アプローチ

国内外各地の事業拠点で、企業パートナーなどとして地域の各種取り組みに参加しています。

**吉川工場、茨城工場、草加工場での取り組み**  
年に数回、工場内だけでなく、周辺の道路や公園などの清掃を行っています。



工場脇を走る県道の歩道や、土手の清掃



工場近くの運動公園を清掃

## 茨城工場の桜、ライトアップされました。

小美玉市からの「近隣の方のために！」という要請と、照明機材9基の提供を受けて実施。近隣の工場や住民の方々に喜んでいただきました。

開花後は、工場正門から独身寮までの500mがピンク一色に。花びらのじゅうたんも、また格別の味わいです。



## 納涼祭

毎年、吉川工場、茨城工場においては、その土地の市長をはじめ、地域の方々のご協力、ご出席をいただき、地域に密着した納涼祭を行っています。その参加者は、吉川工場で約1,300人、茨城工場で約2,000人です。

### 手作りイベントへのこだわり

吉川工場では毎年8月上旬に、社員の暑気払いと地域住民とのふれあいを目的に、納涼祭を開催しております。

従業員数100人程度の吉川工場に毎年1,000人前後が訪れて盛況となるこの納涼祭は、櫓やステージといった会場の設営、出店の看板作りから食材調理まで、従業員一丸となって作り上げ、さらに来場される方々が楽しく安全に過ごせるよう交通整理や分別ごみ箱の設置などにも取り組み、手作り感のあふれるアットホームなお祭りとなっています。また、お子様参加のゲーム、地元の吹奏楽団や団体による演奏、一芸披露、クジ引きなどイベントも満載で、来場される多くの方々にお楽しみいただいております。

これからも納涼祭を通して、地域の皆様と交流していきたいと思っております。



吉川工場納涼祭委員の吉森



吉川工場納涼祭より～  
地元吹奏楽団の演奏



茨城工場納涼祭

# コミュニケーション

社会から信頼される企業をめざし、情報公開やイベントなどを通じて、さまざまなステークホルダーの方々とのコミュニケーション活動に取り組んでいます。

## ぺんてるメールマガジン

一般ユーザー様と販売店様のそれぞれに向けて、メールマガジンを配信しています。

### 一般ユーザー様向けメールマガジン「PENTEL TIMES」

ぺんてるに関する楽しいお役立ち情報を、毎月お届けしています。

### 販売店様向けメールマガジン「PENTEL NEWS」

新商品などの最新情報を、毎月お届けしています。

## Spirit of Wonder (スピリット オブ ワンダー)

“ワクワク、ドキドキ”する商品をお客様のお手元に！——ぺんてるは、さまざまな展示会を通じて、新製品をご紹介します。2007年は、「第18回国際文具・紙製品展 (ISOT)」をはじめ全国各地で開催された展示会などで発表し、ご好評をいただきました。

### アジア最大級の文具見本市

(社)全日本文具協会が特別後援する「第18回国際文具・紙製品展 (ISOT)」が、2007年7月4日(水)～6日(金)に東京ビッグサイトで開催されました。会場には、国内外の文具メーカー約850社が一堂に会し、各社の商品が展示されました。

このISOTに焦点をあわせて新製品を発表するメーカーも多く、いち早く新製品をチェックできる場として、バイヤーやメーカー関係者だけでなく工業デザイナー、ファッション誌や情報誌の編集者、そして文具にこだわるユーザーの間でも注目を集めているイベントです。

海外メーカーもアメリカ、ドイツ、ブラジル、スリランカなどが出展し、なかなか手にする機会がない海外の珍しい文具や、日本にはないデザインの文具などが展示され、国際色豊かな展示会となっています。



連日、大盛況を博した展示場

## ステーショナリー オブ ザ イヤー

ISOTの期間中、その年に発表された新製品の中で、デザイン・機能・価格面において特に優れた製品を決める「ステーショナリー オブ ザ イヤー」の投票が行われます。

各社からエントリーされたヒット商品や新製品を対象に、文具に詳しい有識者により最優秀グランプリを決定します。

ぺんてるは、この賞を過去6回受賞、最近では2005年に「デコブチ」、2006年にゲルインキボールペン「エナージェル」と2年連続グランプリを受賞しました。また、2007年は、機能部門で替芯「サブリオ」、デザイン部門で極細ゲルインキボールペン「スリッチ」がそれぞれ優秀賞を受賞しました。



グランプリを  
拝受する堀江社長



### 2007年機能部門優秀賞 サブリオ



ぺんてる独自の「ナノカプセル製法」で芯の内部に香りを閉じ込めた、勉強をサポートする替芯。

### 2007年デザイン部門優秀賞 スリッチ



極細でありながら、なめらかな書き味とペン先の強さを併せ持ったゲルインキボールペン。

# コンプライアンス活動

企業・個人が社会活動（企業活動）を遂行するうえで遵守すべき行動規範として、創業以来の「社訓」に基づく「ぺんてる企業行動指針」を定め、全社員にその徹底を図っています。

## 企業倫理・コンプライアンス

グローバルに事業を展開するぺんてるでは、社会から尊敬され、愛される企業となるため、世界中の労働者の人権、労働環境、労働条件等について、その国や地域の法令・規則の遵守はもとより、正しい行動を実践するための「コンプライアンス・マニュアル」を作成しています。

## 社員への取り組み状況

「コンプライアンス・マニュアル」には、社員が遵守すべき事項が具体的に例示されており、社内電子掲示板にていつでも閲覧可能な体制となっています。また、コンプライアンスの啓発活動のため、教育ビデオやコンプライアンス担当者による定期的な教育を実施しています。

### コンプライアンス・マニュアル遵守事項

1. 基本的人権と労働者の権利尊重
2. 適正な商取引の実施
3. 環境保全
4. 機密情報や個人情報の適切な管理
5. 適正な経理処理・税務申告
6. 利益相反行為等の禁止



顧問弁護士による  
社内講習会

## 不正輸出の防止

当社の技術や貨物が平和目的以外に使用されないように、「輸出貿易の法令遵守に係わる社内規程」を定め、輸出部門での管理体制を整えているほか、定期的に社員教育と監査を実施し、法令遵守とリスク管理に努めています。

## 情報管理に向けた取り組み

個人情報を含む企業情報の流出・漏洩事故に備え、当社では個人情報保護といった法令遵守に関する社員教育の実施と、情報管理部署の入室管理や端末機器のパスワード管理を徹底するなど、お客様情報や社内機密に関する厳重な管理を行っています。

### ぺんてるにおける個人情報保護ポリシー

ぺんてるは、個人情報の適切な取り扱いが当社の大変重要な社会的責務と考え、以下の取り組みを推進します。

1. 本人の同意のある場合、または法令で許容されている場合を除き、通知もしくは公表した利用目的、または取得の状況から明らかな利用目的にのみ個人情報を利用します。
2. 必要かつ適切な安全管理対策を講じることにより、個人データの漏洩、滅失または毀損の防止など個人データの安全管理に努めます。
3. 社員に対する教育啓蒙活動のほか、個人情報を取り扱う部門ごとに管理者を置き、個人情報の適切な安全管理に努めます。
4. あらかじめ本人の同意のある場合、または法令で許容されている場合を除き、第三者には個人情報を提供しません。
5. 保有個人情報の確認、訂正などを希望された場合は、合理的な範囲で対応します。



# 安全で働きやすい職場づくり

一人ひとりの社員の能力と意欲を引き出し、伸ばしていくよう取り組むとともに、すべての社員が心身ともに健康で安全に働ける職場の環境づくりに努めています。

## QC サークル<sup>※</sup>と改善提案活動

工場部門では、QC 教育の実践の場として QC サークルによる改善提案活動を推進しています。この活動の集大成ともいえる全日本選抜 QC サークル大会で、**1979 年・1989 年・2002 年・2005 年には金賞**を受賞しています。

### ～「QC サークル」は、現場レベルで品質改善をめざす～

「第 35 回全日本選抜 QC サークル大会」(2005 年)で、ぺんてる・茨城工場ペン 5 課の“なすびサークル”が金賞を受賞しました。

この全日本選抜 QC サークル大会に出場するサークルは、各サークルとも社内選考会、地区選考会、そして日本 9 エリアの地区予選を勝ち抜き、選抜された 18 サークルです。

この選抜大会に出場した主なサークルの出身企業は、自動車関係、電機関係、病院関係など。その中で、ぺんてるのサークルも大健闘をみせました。



#### ※「QC サークル」とは

お客様に満足していただける製品やサービスを提供することを目的とし、第一線で働く社内の社員同士で小グループ(サークル)をつくり、製品・サービス・業務内容の質の改善・向上を行うグループのことです。もちろん職場以外でも、飲み会、バーベキューやボウリング大会などを通じてコミュニケーションを深めていますので、レクリエーション担当がいるサークルも珍しくありません。

QC サークルはより高い品質とサービスをめざす日本独自の発想から、1962 年に日本で始まりました。今の日本の企業の力を支えているのは、現場で働く QC サークルのメンバー一人ひとりの力といっても過言ではありません。この活動は海外でも認められ、世界 70 数カ国の地域にも普及しています。

〈財団法人 日本科学技術連盟 QC サークル綱領より〉

## 各種サークル活動

ぺんてるでは、各種のサークル活動も盛んです。野球、サッカー、ソフトボール、フットサル、ボート競技、水泳、走る会、華道、囲碁、将棋などのサークルがあり、いずれも活発に活動しています。

こうした活動も職場での連帯感の高揚、他部署とのネットワークの拡大に貢献しています。



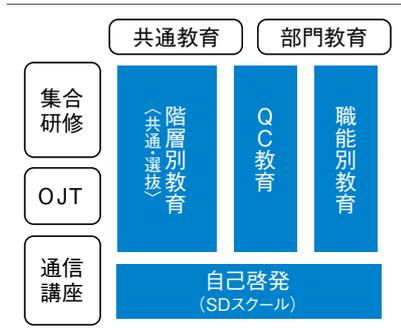
ボートレース大会

## 社員教育

社員教育は、階層別教育・職能別教育・QC教育・自己啓発を柱に実施しています。階層別教育では、新入社員から管理職まで年間スケジュールを立て、一貫した教育を実施しています。

2007年は、身体の健康のみならず、心の健康管理も大切ということで、メンタルヘルスの研修会を本社、支社、各工場で行いました。参加者は皆、真剣に研修に臨んでいました。

### ●社員教育のしくみ



メンタルヘルス研修会

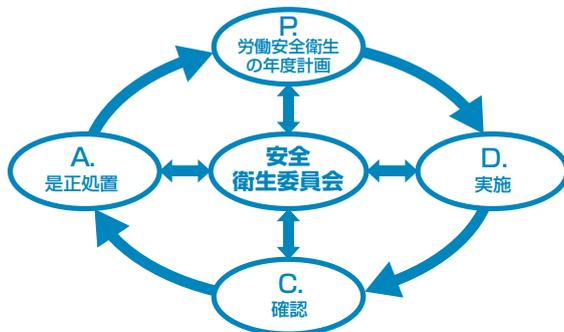
## 労働安全衛生

労働安全衛生に関して、特に機械などを扱う製造現場の取り組みを重点的に実施しています。

安全衛生委員会では毎月、その委員会による工場巡回を実施し、機械の異常、設備の状況を確認、問題のあるときには該当部署に是正勧告、対策の確認を実施しています。

また、定期的開催の労働安全工場巡回により、労働災害発生状況は表のような結果になっています。今後もさらにこの活動を推進し、発生事故ゼロをめざします。

### ●工場の活動概念図



### 安全衛生委員による工場巡回

各職場から選出された安全衛生委員と管理者で構成された安全衛生委員会により、毎月1回、工場巡回と会合を実施します。

巡回では、毎月決められた重点テーマのもと各職場の安全状況を確認し、重点テーマ以外でも安全に係わる不安要素があれば、それを記録し、是正措置を要求します。是正措置が行われると、次回の巡回の際に確認がなされます。巡回後の会合では、労働災害事故の未然防止につながる前向きな提案、議論がなされます。



問題箇所を指摘

### ●労働災害発生状況 (2007年度)

	総労働時間 (h)	発生事故(件)		備考
		休業災害	不働災害	
茨城工場	615,648	0	0	—
草加工場	328,932	0	0	—
吉川工場	195,665	4	0	1件は交通労災

## 健康管理

従業員が健康を維持し、安心して働けるよう、毎年健康診断を実施しており、全社の受診率は99% (2007年) となっています。

また、ペンてる健康保険組合とタイアップして、人間ドック健診の費用援助や生活習慣病予防の個別相談会を実施しております。

# 環境マネジメント体制

環境保全活動をより効果的に推進するために、環境マネジメント体制を構築しています。環境マネジメントの活動も、PDCAサイクルを基本にグローバルな展開を行っています。

## 環境マネジメント

ぺんてるは1996年に環境綱領を制定し、翌年に環境管理・推進の組織を立ち上げました。主として環境への負荷が大きい工場サイトの活動を推進し、1998年に吉川工場、1999年に茨城工場、2000年には草加工場でISO14001を認証取得しました。2003年度には全社環境管理委員会を組織し、全社での取り組みをはじめました。

ぺんてるの環境マネジメントは、以下の項目を主体に全社的取り組みを実施しています。

1. 「ISO14001 マネジメントシステム」の確実な実行
2. 「TQM(総合的品質管理)」活動の一環として実施
3. 「QC サークル活動」(工場部門)での全員参加

## 環境綱領

### 〈基本理念〉

ぺんてる株式会社は地球社会のよき企業市民として、企業の社会的責任の重要性を認識し、地球環境保護と環境汚染防止を企業経営の重要な理念として、全社員の環境意識を高め、会社運営の全ての面で人と環境に調和した企業活動を推進します。

(備考)

環境に関する行動指針は上記の内容となっておりますが、企業の社会的責任を果たし、持続可能な企業構築のため、新たなぺんてる企業行動指針「(2ページ参照)」を策定しました。

### 〈行動指針〉

1. 企業活動全般にわたり、設計開発から廃棄にいたる全ての段階において環境保全を考慮した製品とサービスを開発し、提供します。
2. 環境に関連する国内外の関連法及び協定、約束を遵守し、継続的な環境の保全と向上を図ります。
3. 海外事業展開に際しては、相手国の環境保全の確保に努めます。
4. 新規事業の計画に当たっては、継続的なアセスメントを実施し、環境保全に努めます。
5. 社員に対しては、環境保全に対する情報の提供と教育を行うとともに、顧客、行政、地域社会に対しても環境保全のために必要な情報を提供します。
6. この方針を全社員、全組織に周知徹底するとともに、環境保全に関する知識と技術の向上に努め、全社一丸となった環境管理活動を推進します。

## 各事業所への展開

### 環境マネジメントの活動もグローバル展開しています

#### 環境方針

【国内工場】	【海外工場】
草加工場 吉川工場 茨城工場	アメリカ 台湾

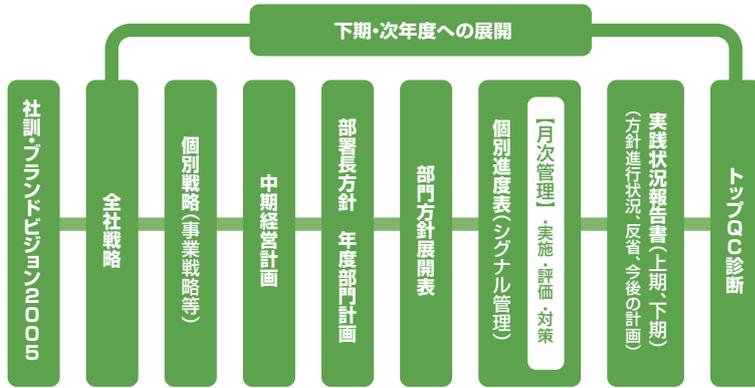
#### ISO14001認証取得状況

吉川工場	1998年
茨城工場	1999年
草加工場	2000年
アメリカ ロサンゼルス工場	2001年
台湾 台北工場	2002年



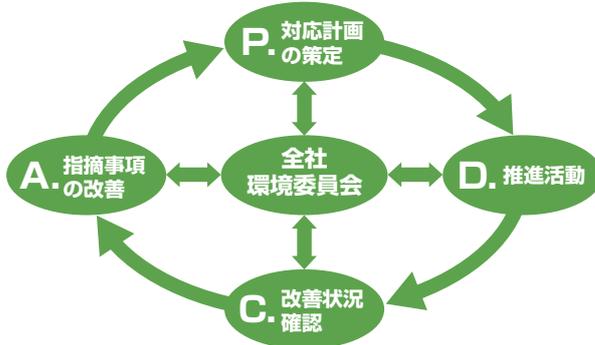
### 環境マネジメント展開の概念図

〈べんてるにおける方針管理〉



社長をはじめとする経営トップ陣により上期終了後及び年度末に行われるトップQC診断では、Q(品質、品質管理活動ISO9001含む)、C(コスト)、D(納期)、及び環境保全活動(ISO14001)の取り組みについても、その内容について診断が行われ、問題部分に関してはその是正処置が指示されます。

〈環境マネジメントの推進組織〉



QCサークル活動

- 環境提案ポスターコンクール
- 環境標語
- リサイクルバザー

QCサークル活動を通じて、社員一人ひとりが参加し改善する活動をボトムアップの形で実行しています。いわば活動全体に心を通わせていく形で推進しています。

### TQM (総合的品質管理)

常にお客様第一の考え方に立って、世界最高品質水準の製品づくりを目標とし、品質保証のしくみや固有技術の向上・蓄積、人材育成までも含めてレベルアップを図っていく活動のことです。

品質保証にあたっては、製品の機能、性能、信頼性などへの配慮はもちろん、特に安全性や環境への十分な配慮も重視しています。

特徴のひとつとして、品質の考え方にお客様の満足度を取り入れています。さらに、企業のトップが制定した経営戦略をブレイクダウンし、品質目標、お客様満足度目標まで落とし込むことで、全社的に展開しています。

それらの一連の活動の成果として、1976年には、品質管理の最高栄誉であるデミング賞を受賞しています。また、国内外の工場において、ISO9001・14001 認証の取得にも、積極的に取り組んでいます (TQMについては12ページもご参照ください。)

### 世界のべんてるの仲間とともに

2005年に世界中のべんてる社員に向けて「Pentel BRAND VISION 2005」を配布しました。この中で、地球環境や環境汚染予防活動などにも取り組むことを「べんてる経営理念」として表明しています。

今後この理念実現のために、ISO14001 認証取得などの活動を日本のみならずグローバルに展開します。



べんてるブランドビジョン 2005

# 環境取り組み報告

ぺんてるでは環境保全と省資源への取り組みを、全社員参加のもと、さらにグローバルネットワークを構成する海外販社や海外工場との連携を深めた活動を推進しています。

## 活動計画と実績

### [活動の内容]

#### 活動方針1:ゼロエミッション<sup>※</sup>を狙った廃棄物の削減とリサイクルの推進

活動項目	活動状況
廃棄物の分別収集	工場目標達成、本社、支社実施中
プラスチック廃棄物の高炉原料化リサイクル	達成率100%
生ゴミのコンポスト化处理	達成率100%
産業廃棄物のセメント原料化リサイクル	達成率100%
廃蛍光管のリサイクル	達成率100%

#### 活動方針2:省資源/省エネルギーの推進

活動項目	活動状況
消費電力の少ない製造設備の調達・切り替え	更新中
製造工程の見直し・効率化による消費電力の削減	消費電力 18ページ参照
消灯運動・室内温度適正管理の推進	実施中
製造設備の冷却水の循環化による水の消費量削減	水の消費量 18ページ参照
裏紙利用等による紙の使用量削減	達成率100%
クールビズへの参加(2007年夏)	ネクタイ着用なし(室温28度)

#### 活動方針3:環境負荷低減関連法規への対応

活動項目	活動状況
容器包装リサイクル法への対応	対応実施
ドイツ グリューネプункトへの対応	達成率100%
EU EN71-3への適合	達成率100%
工場排気・排水浄化処理対策	達成率100%
化学物質の適正管理	PRTR法への適正対応 RoHS指令への適正対応
産業廃棄物のマニフェスト適正管理	達成率100%
騒音・臭気削減対策の実施	計画通り

#### 活動方針4:環境にやさしい商品の開発

活動項目	活動状況
エコマーク、グリーン購入法、GPN適合商品の開発	計画達成率100%
包装材の簡素化	実施中
再生材の利用推進	計画達成率100%
環境安全性の高い原材料の使用	塩ビの削減 達成率100%
製品環境アセスメントの推進	品質機能展開表に項目設定、DR時に確認実施

#### 活動方針5:グリーン調達の推進

活動項目	活動状況
環境ラベル製品の購入推進	GPNデータベースを参照し、実施中
印刷インキ(パンフレット類)の大豆油インキ化	実施中
再生紙への切り替え	達成率100%(デザイン用紙除く)
消費電力の少ない事務機器の調達	実施中

#### 活動方針6:社会貢献・コミュニケーション

7ページ「世界児童画展、写真会」、8ページ:WWF・社会貢献活動、9ページ:地域とともにをご参照ください。

### [グリーン調達]

工場においては、国内外の化学物質規制が強化されるなか、調達品のそれらへの適合性を評価し、基準適合品の調達を推進しています。また、オフィスでは右記のグリーン購入活動を推進しています。

●コピー紙:リサイクル紙使用率 95%  
(デザイン用、POP用などの特殊用紙が5%)

●トイレトペーパー:リサイクル紙 90%  
●節電型電気機器の購入

### ※ゼロエミッション

環境を汚染することのない生産工程を用いたり、異業種産業(企業)の連携によって廃棄物の再利用をしたりすることで、社会全体で廃棄物排出ゼロのシステムを構築する、またはそれを構築するようにめざすことです。



[環境パフォーマンス管理]

下記項目全体の改善が進んでいます。しかし、今後工場を稼働するうえで、必要な項目である電力や水道使用量の削減は、今のままのような内容では難しい局面にきています。

廃棄物の削減や廃棄物のリサイクル移行は順調に進んでおり、草加工場ではゼロエミッションを達成するところまで進みました。

項目	《草加工場》	《茨城工場》	《吉川工場》
電力使用料 (百万円)			
水道使用料 (百万円)			
リサイクル量 (トン)			
廃棄量 (トン)			
環境会計 (百万円)			
考察	2005年度から連続してゼロエミッションを達成しています！ 漏水対策、使用電力の再検討、成型機冷却水のリサイクル化などを推進しています。	2005年度ゼロエミッションを達成しましたが、2006、2007年度はわずかに未達成。コンプレッサーの統合、ボイラーのLPガス化、記録類の電子化、冷却水のリサイクル化、漏水箇所の修繕、蛍光灯のリース化、汚泥の脱水減量、危険物取り扱いの集約化、アスベストの除去などを行ってきました。	ゼロエミッション達成のための取り組みを行っていますが、難航しております。冷却水の循環施設、蒸気配管の見直し・修理、省エネ型コンプレッサーの導入、替芯乾燥機の改善、歩留まりの向上などの生産技術の改善により環境負荷低減をめざします。

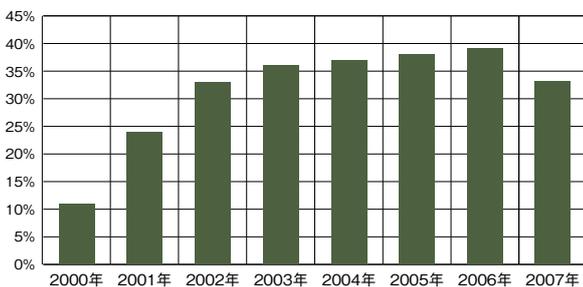
# 環境に配慮した商品開発

1991年より、人と地球にやさしい環境配慮商品の開発に着手しました。現在では、環境への負荷が少ない商品が、国内売り上げの約50%を占めています。

## 商品開発の方針

ぺんてるでは、リサイクル素材を使った商品や、製品本体を捨てずに再利用し、長く使用できるようにした商品、さらに有害物質を使わず、CE基準に合致した商品を開発しています。

### ●エコマーク商品比率 (国内総売上に対するエコマーク認定商品売上額)



### ●リサイクロジーマーク

ぺんてるは、環境問題に積極的に取り組むという企業方針の下、より多くの廃棄素材を有効に再利用するため、部品ごとにさまざまな再生材を適材適所に活用しています。

キャップ安全性ISO規格、欧州玩具安全基準等に準拠した、人と地球にやさしいぺんてるのブランドです。

### ●3R (リサイクル/リユース/リデュース)

#### リサイクル

製品化されたものを再資源化し、新たな製品などの原料として利用することをいいます。

#### リユース

一度使用された製品をそのまま、もしくは製品のある部分をそのまま再利用することをいいます。

### ●商品開発の概念図



#### リデュース

環境負荷や廃棄物の発生を抑制するために、無駄・非効率的・必要以上の消費・生産を抑制あるいは行わないことを指します。製品の寿命を極力延ばすことや、製品全部ではなく部分的に交換するだけで継続使用できるように作ることも、リデュースの一つであることができます。



## リサイクルからリデュース・リユースへ

当社では、リサイクル素材を使った商品を開発・生産販売しています。また、同時にリデュース・リユースの視点に立った活動を推進しています。

### ペイントマーカのリデュース・リユースへの取り組み

#### 1 リデュース

##### 分別廃棄の徹底や分別が不要な商品の開発で、廃棄物を減らす

自動車部品などのマーキングに使われているペイントマーカは、従来、本体にアルミ、攪拌体に鋼鉄ボール、その他に樹脂の複合素材を使用していました。そのため、廃棄物の分別を行うT社では、素材ごとに分解する作業を効率化する必要がありました。ペンてるでは、軸本体の分解工具を考案し、採用となりました。

次に、分解作業自体を省くため、分解せずにそのまま廃棄できるような「樹脂部品だけのペイントマーカ」を開発しました。開発にあたっては、「認定基準をクリアする」、「RoHS 指令の基準をクリアしたインキを使用する」、「インキに含まれる有機溶剤による劣化を防ぐ」という3つの課題に同時に取り組み、「有機溶剤に劣化しない材料は金属だけ」という常識を打ち破りました。

#### 2 リユース

##### 廃棄物として捨てずに、再利用する

現在は、使い終えてインキのなくなったペン本体を回収し、再度インキを補充して再利用する取り組みをT社と共同で実施し、さらなる技術力アップを図っています。



回収されたペイントマーカ



インキの再充填作業

#### ペイントマーカの特徴

金属部品を使っていない油性ペイントマーカ。プラスチックゴミとして廃棄することができます。



●材質/  
 前軸・ベン先ホルダー:再生PBT  
 キャップ、攪拌体:再生POM  
 ペン先:アクリル繊維  
 バネ弁:POM  
 (写真はMMP20 中字)

#### ※グリーン購入法

国等の公的機関、事業者、消費者のそれぞれが、環境物品などを調達(購入)することにより、「環境にやさしい」いわゆる「環境保全型」社会を作ることを目的とした法律です。

## リサイクル商品 (国内向け)

再生素材を使用するのはもちろん、環境に負荷を与えないさまざまな工夫を商品に盛り込んでいます。商品の詳細については、当社ホームページ (<http://www.pentel.co.jp/>) をご覧ください。

製品名：多色ボールペン ローリー

軸が細く軽い



製品名：エフ水彩

キャップをなくさない+いやなおいをカット



製品名：ノック式修正ボールペン パワコレ

カートリッジ式 + ノック式 + 振る必要がない



製品名：.e シャープ、ローリーシャープ

残り芯が少ない



製品名：画筆ネオセーブル

人造毛でコシがあり 水含みが良い



製品名：マルチプレス

空き缶、ペットボトルを 1/3 に減容



製品名：替芯サブリオ

香りが勉強をサポート



製品名：蛍光マーカー

ハンディライン・エス

カートリッジ式 + ノック式 + 細軸



製品名：ハンディ

ホワイトボードマーカー

キャップ開け閉めの 煩わしさを追放



製品名：テープングルー 25

大容量 + 手ブレなし





## リサイコロジー商品（海外向け）

世界 20 カ国に販売会社網を築いてきたぺんてるは、全世界に向けて環境にやさしい商品を市場に提供する活動を推進しています。

海外工場生産品も含めて、再生材等の環境にやさしい材料を利用した商品の開発を推進しています。



## 積極的な広告活動

▼リサイコロジー広告（イギリスぺんてる）



▲リサイコロジーパンフレット（カナダぺんてる）



▲現地大型  
量販店向けディスプレイ  
（カナダぺんてる）



▲リサイコロジー製品紹介パンフレット  
（イギリスぺんてる）

◀リサイコロジー製品総合ディスプレイ（イギリスぺんてる）

# 国内外のエコファクトリーへの取り組み

日本国内の3工場、海外の2工場でISO14001を取得し、各工場において、独自の環境保全活動や省資源への取り組みを行っています。

## 茨城工場の環境対応について

茨城工場は茨城県中部の小美玉市にあり、霞ヶ浦北端に近い田園地帯の中で操業しています。ぺんてるでは最大規模の工場で、絵の具、クレヨンなどの描画材、ボールペン、サインペン、マーキングペンなどの筆記具、修正液、消しゴムなど、ぺんてるの主力製品を生産しております。

工業団地の一角に位置しますが、周囲には平地林などもあり、この環境のよさをしっかり受け止め、環境保全と廃棄物などの削減に工場一丸となって取り組んでいます。

### ● ISO14001の取り組み

茨城工場は、1999年2月、吉川工場に続いて、ISO14001の認証を財団法人日本科学技術連盟(日科技連)より取得いたしました。省資源、省エネルギーや汚染物質の削減、排水の浄化等に積極的に取り組んでいます。



茨城工場全景

また、毎年、環境月間の6月には記念植樹を行い、工場内緑化計画の推進や、全員参加による工場周辺の清掃作業などにも取り組んでいます。

### ● 2007年度～2009年度 環境目的・目標

主な環境保全活動事項	活動目的(中期計画)	目標(2006年度対比)		
		2007年度	2008年度	2009年度
消費電力の低減	省エネルギー・省資源の推進	現状維持	現状維持	現状維持
水の使用量低減		3%↓	現状維持	現状維持
燃料消費の低減		現状維持	現状維持	現状維持
紙の使用の低減		現状維持	現状維持	現状維持
廃棄物の低減	廃棄物の削減とリサイクル率の向上	10%↓	13%↓	15%↓
リサイクルの推進		現状維持	現状維持	現状維持



CO <sub>2</sub> の削減	地球温暖化防止	3%↓	4%↓	5%↓
---------------------	---------	-----	-----	-----

より環境負荷の低い製品の開発	環境にやさしい製品の増加	13件	4件	4件
水質汚濁の予防	工場の諸活動から発生する環境影響負荷を低減する	2件	2件	2件
使用物質を代替して環境負荷を低減する		5件	5件	5件
全員参加による工場周辺の整備	工場及び周辺環境改善	3件	3件	3件
工場内緑化計画の推進(緑地率)		36%	36%	36%



排水処理施設



危険物取扱所(Ⅰ棟)



記念植樹



●全社の取り組みと茨城工場



**中国・天津工場の環境対応について**

1991年10月に天津派通文化用品有限公司として設立され、今年で設立17年を迎える中国・天津工場においても、各種の環境保全活動を進めています。

同工場では、ボールペン、シャープペンシルの組立、繰り出し式消しゴムの組立を行っています。このうちボールペン、シャープペンシルの部品は、日本より再生材料を輸入し、成形業者で成形し、社内で組み立てられて、エコマーク商品として日本へ戻ってきます。



天津工場社屋



# 世界の文具をリードするぺんてる

## 今までにない、新しいペン作り

他社にはない、ボールペンのように持ち運びが楽で、筆のように書けるペンを作る、という発想から、ぺんてるサインペンはスタートしました。

ペン先作りでは、あらゆる種類の繊維とそれを固める樹脂を組み合わせて、熱で固め、それを削ってペン先の形にするという試行錯誤を繰り返しました。ペン先内部の小さな隙間をインキが伝わる毛細管現象を利用して、最適なインキの出方を実現。また、インキを保持する中綿は、フランスパンにヒントを得て、表面は硬く、中は軟らかなものとする事で、インキの保持性能が向上しました。本体は握りやすくするため、やや太めに。キャップクリップも太めにしました。六角形から円柱形へと流れる独特のラインは、多くの人々を感動させたものです。

## はじめはアメリカで話題に

こうして、幾多の苦勞を乗り越えて世に出されたぺんてるサインペンでしたが、当初は見向きもされませんでした。「ならば、海外に販路を見出そう」と、アメリカの見本市に出品しましたが、そこでの反応も当初は今ひとつ。

しかし、シカゴの見本市で配布された1本が、大統領補佐官の目に留まり、時のジョンソン大統領の手に。大統領はこの新しいペンがとても気に入り、そのことが「ニュース・ウィーク」誌で紹介されるやいなや、ぺんてるサインペンの名は全米に知れわたりました。そして、やがて日本でも大人気となるのです。

さらには、毛細管現象を利用しており、大気圧の変動による影響を受けないことから、1965年には宇宙船ジェミニ6号、7号にも搭載され、宇宙でも大活躍しました。

その後も、長期保存性を向上させるため軸の材質を変える改良が施されたり、筆跡が水に流れず退色しにくい顔料インキタイプが追加されるなど、ぺんてるサインペンはたゆまず進化し続けています。



昔からの定番商品も、ぺんてるが開発したものです。

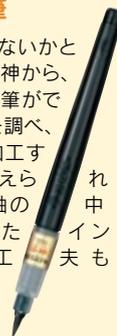
### 1962年 0.5mmハイポリマー芯

1960年の0.9mmハイポリマー芯発売に続き、現在の主流となる0.5mm芯を世界で初めて発売。従来の粘土の代わりに樹脂を使い、それまで不可能とされていた“強く、濃く、なめらかな”0.5mm芯を実現しました。



### 1976年 ペんてる筆

もっと使いやすい筆はできないかという発想と、動物愛護の精神から、合成繊維を使ったぺんてる筆ができました。動物の毛の形状を調べ、合成繊維を同様の形状に加工するという、当時としては考えられない技術を採用。また、軸のインキを内蔵し、安定したキ吐出を可能にするという工夫もされています。



### 1983年 ペんてる修正液

オフィスのごみ箱に捨てられた刷毛式修正液から、従来の刷毛式修正液の欠点を徹底的に調査した上で、世界で初めて開発されたペンタッチ式の修正液。ペン先を押し付けるだけのワンタッチ、しかも全てのインキを使いきれやすい便利な機構と経済性を備えたこの製品は、またたく間に全世界へ広がりました。



# ぺんてるの歴史と社会・環境活動のあゆみ

創業時より一貫して、世の中になく新製品を作り、新しい需要を引き出し、市場を大きくすることを続けてきました。今後もこのポリシーをもって、新製品開発に力を注いでいきます。

1946年 (昭和21年)	s大日本文具株式会社創立 「新しい日本を創るのにもっとも必要なのは教育である」との理念に基づき、クレヨン、絵の具などの学用品の製造販売をはじめた。		1983年 (昭和58年)	sPUHAの発売 小型精密組立ロボット(PUHA)を開発、発売。FA部門に参入。 sぺんてる修正液の発売	
1952年 (昭和27年)	s草加工場(絵の具、クレヨン・パス)、日本工業規格(JIS)認定工場に指定される業界初のJIS制度導入。QC(品質管理)の開始。	ぺんてるの名前の由来となったパス	1989年 (平成元年)	sゲルインキボールペン ハイブリッドの発売	
1960年 (昭和35年)	s木を使用しない世界初のノック式シャープペンシル s強くなめらかに書ける、粘土をバインダーとしないハイポリマー芯 s技術研究所設立 sノック式シャープペンシル(0.9mm)の発売		1990年 (平成2年)	s本社ビル完成	
1962年 (昭和37年)	sハイポリマー芯(0.5mm)の発売		1991年 (平成3年)	sぺんてるペンなど人と地球に優しい商品の開発開始 sぺんてるリサイクルマークの作成・表示	
1963年 (昭和38年)	sぺんてるサインペンの発売		1992年 (平成4年)	s世界自然保護基金(WWF)に協賛開始	
1964年 (昭和39年)	s近代設備を誇る茨城工場建設 s世界各地に海外販社設立(香港、シカゴ、パリ、ロンドン、ぺんてるオブアメリカ)		1995年 (平成7年)	sオゾン層破壊物質の全廃(製品) sISO9001取得(茨城工場・吉川工場)	
1966年 (昭和41年)	s輸出貢献により内閣総理大臣賞を受賞		1996年 (平成8年)	s創立50周年	
1967年 (昭和42年)	sカートリッジを使用した水性ボールペン		1997年 (平成9年)	s茨城工場 地球に優しい企業(緑化部門)茨城県より受賞	
1970年 (昭和45年)	s大阪万国博に国際児童画館を出展・参加 s第1回世界児童画展に協賛以降、毎年協賛し、2007年で37回目の開催。		1998年 (平成10年)	sISO14001取得(吉川工場)	
1971年 (昭和46年)	sぺんてる株式会社に社名変更 s連続8年輸出貢献企業認定を受ける		2000年 (平成12年)	sエフ水彩絵の具ポリチューブ エコマーク認定取得	
1972年 (昭和47年)	s水性ボールペンの発売 樹脂チップと水性インキでなめらかな書き味のボールPentel。		2001年 (平成13年)	s茨城工場 地球に優しい企業(環境管理監査部門)茨城県より受賞	
1974年 (昭和49年)	s茨城工場排水処理施設北関東地区モデル工場 s茨城県緑化コンクール最優秀工場		2002年 (平成14年)	sエルゴノミックスの発売 人間工学に基づく第4の支点をもつ筆記具。	
1975年 (昭和50年)	s在庫管理機の発売 電子機器部門に本格参入。		2004年 (平成16年)	sエアペンの発売 筆記具と電子の融合。	
1976年 (昭和51年)	s穂先に動物毛を使用しない(ナイロンを使用)ぺんてる筆 sデミング賞受賞 業界初のJIS制度導入にはじまる徹底した品質管理活動で、文具業界初で唯一となる受賞(デミング賞については、12ページをご参照ください)。それ以降、後にISO9001品質システム(1995年)及び、ISO14001環境マネジメントシステム認証(1998年)を取得。		2005年 (平成17年)	s新たなコーポレートメッセージ「Spirit of Wonder」を発信 s創立60周年	
			2006年 (平成18年)	s環境教育プログラム「ホッキョクグマが泣いている...」を発刊・無料配布 s「世界一長い絵」がギネスブック2006年版に正式認定 sエルゴノミックス ウィンググリップを発売 s極細ゲルインキボールペン「Slicci」を発売	
			2007年 (平成19年)	sリサイクロジー商品群を全世界に向けて発信 sIOTステーションナリー オブ ザ イヤー 機能部門にて、「サブリオ」が優秀賞受賞 s修正テープ「FrenchPOP(フレンチポップ)」発売	



第37回世界児童画展 外務大臣賞受賞作品 “農家” 9歳 女 タイ

**ぺんてる株式会社** 〒103-8538 東京都中央区日本橋小網町7-2 <http://www.pentel.co.jp/>  
TEL 03 (3667) 3333 (代表)

お問合せ窓口：社会環境報告書編集委員会 事務局 TEL 03 (5695) 7292



本報告書はFSC森林認証指定紙を使用し、VOC成分ゼロの大豆油インキで印刷しています。

